



後方は残雪の飯豊山(4月25日撮影)

県営白川左岸地区基幹水利施設ストックマネジメント事業により整備された白川左岸3号水路

第1期経常賦課金の納入期限は7月15日です。

口座振替契約の方は、6月末と7月15日に口座振替を予定しておりますので、いずれかで口座引き落としが出来ますよう残高をご確認ください。

目次

理事長あいさつ.....	2	平成22年度一般会計・特別会計予算.....	9~10
通常総代会開催.....	2~3	21世紀創造運動活動(水の道探検隊).....	11
平成20年度決算報告.....	4~5	先人の足跡(白川土地改良区設立).....	12~13
平成20年度財産目録.....	6	農業用水水源地域保全ブロックシンポジウム.....	13
平成21年度補正予算.....	6~7	農地・水・環境保全対策活動紹介.....	14
伝言板(改良区への届出).....	7	表彰・維持管理組合委員委嘱.....	15
平成22年度賦課額一覧表・平成22年度決済金一覧表.....	8	お知らせ.....	16

平成21年度 通常総代会挨拶

理事長 高橋 昭一



挨拶する高橋理事長

平成二十一年度通常総代会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

総代の皆様には、年度末の月に入り、何かとご多用の中、ご出席を頂き大変有難うございます。

また、ご来賓の方々にも、日頃大変お世話になっております中、本日もご公務多忙の所、ご臨席を賜り深く感謝申し上げます。

ただ今表彰を受けられました十名の総代の方々には、長年にわたり本区にご貢献を賜り深く感謝申し上げます。今後更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年の用水状況ではありますが、春先から六月にかけて極端な降雨不足となり、特に犬川水系では、自流が枯渇しダムの水だけに依存する事となりました。

早期の間断灌水の実施、管理委員によるきめ細かな対応により、大過なく配水することができました。

しかし、七月からは一転して連日の大雨となり、一時は冠水や災害も心配されましたが、無事に秋を迎えることができました。作柄も八月中旬からの天候の回復により、平年作に近い収穫となり安心した所であります。事業関係であります。豊里地区の基盤整備事業は、来年度完了の予定であります。大型圃場と新しい営農組織で、より効率的な農業が営ま

れることとなります。

白川左岸地区には、二箇所の水路改修工事が入っております。特に新農業水利システム保全対策事業には、飯豊町、長井市より特段のご理解を頂き、地元負担に対し、七%の補助を頂く事となりました。農家負担の軽減となり、大変喜んでいる所であります。

新規事業として、こうぞく地区の基盤整備事業を予定しております。当地区は、昭和三十年代に川西北部土地改良区の事業として整備され、五十年が経過し、再整備をするもので、川西町のご理解を頂きながら、全組合員の施行同意を得まして事業申請すべく、本日提案するものでありますので、可決下さいます様お願い申し上げます。

次に本区の運営についてありますが、何よりも組員の皆様に信頼頂かれる運営をする事が大切と考えております。

第一に、最大の業務であります用水の安定確保と、末端まで公平な配水をし、その施設の管理に万全を期し、水に対する不安、不満の解消に努めたいと思っております。

第二は、業務への理解を頂く事、施設の案内、情報の公開を積極的に行い、ご要望、ご意見等の収集を行い、迅速かつ適正に対処することに努めたいと思っております。

第三は歳出科目の精査をし、ムダの排除、コスト意識、費用対効果を充分に考慮し、賦課金で運営されている事を忘れる事なく、効率的な運営に努めていきます。

第四は未収金対策であります。財源の確保、公平性から回収に努めます。

以上の様な事を日々念頭に置きながら、組合員の

皆様に信頼される白川土地改良区である為に、役員一同頑張っておりますので、総代の皆様の更なるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十一年度

通常総代会開催

全議案原案どおり可決

平成二十一年度通常総代会が、去る三月二日午後一時三十分より本区事務所に於いて開催されました。総代定数五十名中四十四名が出席し、来賓に岩倉達也置賜総合支庁産業経済部西置賜農村整備課技術主幹、後藤幸平飯豊町長、新野潔長井市副市長、高橋栄一川西町産業振興課長のご臨席をいただきました。

議長には、川西町大字小松、荒井浩総代が選任され、慎重なる審議の結果、全議案原案通り可決されました。



▶質問する安部宗右衛門
総代



◀議案の挙手による採決

● 議事

報第一号 平成二十年度事業報告の承認について

認第一号 平成二十年度一般会計歳入歳出決算書の承認について

認第二号 平成二十年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出決算書の承認について

認第三号 平成二十年度特別会計償還事業歳入歳出決算書の承認について

認第四号 平成二十年度特別会計かんがい排水事業歳入歳出決算書の承認について

認第五号 平成二十年度特別会計基盤整備事業歳入歳出決算書の承認について

認第六号 平成二十年度特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出決算書の承認について

認第七号 平成二十年度特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出決算書の承認について

認第八号 平成二十年度特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出決算書の承認について

白川土地改良区 通常総代会



岩倉技術主幹

議第八号 平成二十二年加入金の歳出予算(案)の議決について

議第七号 平成二十二年役員報酬額及び総代、役員費用弁償額の議決について

議第六号 平成二十二年一般会計賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第五号 規約の一部改正(案)の議決について

議第四号 定款の一部改正(案)の議決について

議第三号 土地改良施設維持管理適正化事業資金の拠出議決について

議第二号 新規土地改良事業の施行申請をする事について

認第十三号 地区除外等処理規定の一部改正について

認第十二号 専決処分した事件の承認について

認第十一号 平成二十年度財産目録の承認について

認第十号 平成二十年度特別会計基本財産積立金歳入歳出決算書の承認について

認第九号 平成二十年度特別会計特別積立金歳入歳出決算書の承認について



後藤飯豊町長

議第九号 平成二十二年一時借入金金の議決について

議第八号 平成二十一年度特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十号 平成二十二年特別会計基幹水利施設管理事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十一号 平成二十二年特別会計償還事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十二号 平成二十二年特別会計償還事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十三号 平成二十二年特別会計かんがい排水事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十四号 平成二十二年特別会計かんがい排水事業歳入歳出予算(案)の議決について

議第十五号 平成二十二年政策公庫資金(農林水産事業)の借入及び償還方法の議決について

議第十六号 平成二十二年一時借入金金の議決について

議第十七号 平成二十二年特別会計基盤整備事業賦課金の賦課基準及び賦課徴収方法の議決について

議第十八号 平成二十二年特別会計基盤整備事業歳入歳出予算(案)の議決について



新野長井市副市長

議第十九号 平成二十二年政策公庫資金(農林水産事業)の借入及び償還方法の議決について

議第二十号 平成二十二年一時借入金金の議決について

議第二十一号 平成二十二年決済金金の議決について

議第二十二号 平成二十二年特別会計地区除外等処理決済金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十三号 平成二十二年特別会計職員退職給与基金積立歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十四号 平成二十二年特別会計役員退任慰労金積立歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十五号 平成二十二年特別会計特別積立金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十六号 平成二十二年特別会計基本財産積立金歳入歳出予算(案)の議決について

議第二十七号 経営安定対策基盤整備緊急支援事業及び土地改良負担金償還特別緊急支援対策事業について

議第二十八号 平成二十二年加入金の額の議決について



荒井浩総代会議長

計決算の報告

一般会計

歳入合計 256,500,111円

組合費	198,344,629円	平成20年度賦課金
助成金	1,000,000円	市町より
補助金	4,119,750円	維持管理適正化事業
受託料	500,000円	管理体制整備計画策定業務
雑収入	8,552,619円	過年度賦課金、手数料等
繰越金	21,205,986円	前年度より
繰入金	20,083,807円	各特別会計より
不動産収入	2,035,000円	土地・建物賃貸料
財産収入	658,320円	

歳出合計 235,447,178円

事務所費	94,323,494円	総代・役員費、事務費等
維持管理費	80,243,404円	維持管理費
区債及び借入金	125,754円	一時借入利子
助産費	49,046,000円	退職給与基金、特別積立金、基本財産積立金
負担金及び寄附金	11,708,526円	法定負担金、その他負担金

繰越額 21,052,933円

特別会計

歳出合計 24,719,796円

基幹水利施設管理事業

歳入合計 24,719,796円

基幹水利施設管理事業
24,719,796円

基幹水利施設管理事業
24,719,796円

繰越額 0円

歳出合計 52,681,307円

償還事業

歳入合計 64,644,325円

区債及び借入金 42,597,500円	賦課金 18,581,407円	繰入金 16,842,606円
繰出金 10,083,807円	助成金 9,037,658円	区債及び借入金 5,260,000円
繰越額 11,963,018円	雑収入 3,485,117円	
	繰越金 11,437,537円	

歳出合計 43,112,328円

かんがい排水事業

歳入合計 43,937,082円

事業費 31,348,755円	区債及び借入金 21,851,000円	補助金 17,039,000円
事務費 1,895,780円	賦課金 4,742,972円	繰越金 248,429円
分担金及び負担金 7,908,500円		雑収入 55,681円
区債及び借入金 1,959,293円		

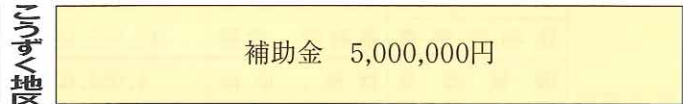
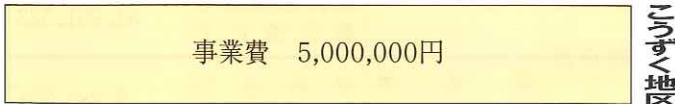
繰越額 824,754円

平成20年度会

歳出合計 48,589,892円

基盤整備事業

歳入合計 50,911,183円

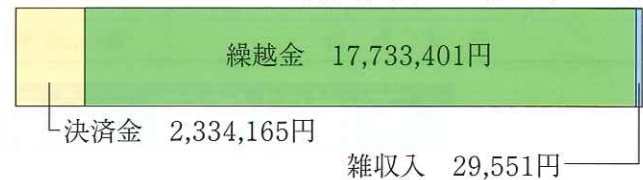
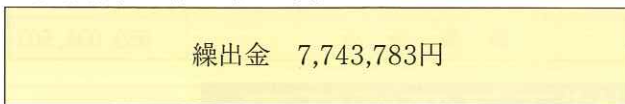


繰越額 2,321,291円

歳出合計 7,743,783円

地区除外等処理決済金

歳入合計 20,097,117円

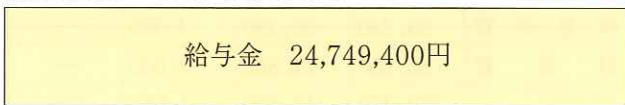


繰越額 12,353,334円

歳出合計 24,749,400円

職員退職給与基金積立

歳入合計 106,700,923円



繰越額 81,951,523円

歳出合計 0円

役員退任慰労金積立

歳入合計 2,385,334円

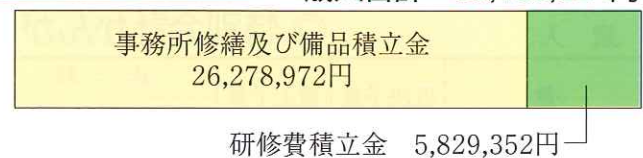


繰越額 2,385,334円

歳出合計 0円

特別積立金

歳入合計 32,108,324円

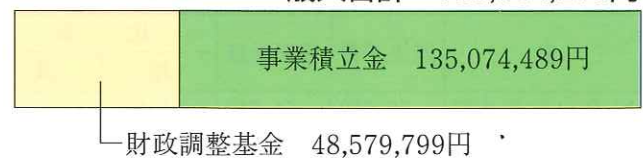
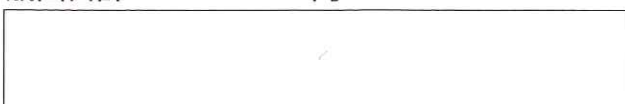


繰越額 32,108,324円

歳出合計 0円

基本財産積立金

歳入合計 183,654,288円



繰越額 183,654,288円

平成20年度 財産目録

【資産】

【負債】

(単位：円)

摘 要		金 額		摘 要		金 額	
流動資産			381,223,049	長期負債	借 入 金		240,581,700
	現金及び預金	預 金	36,161,996			日本政策金融公庫	135,228,643
	未 収 入 金	未収賦課金使用料	31,687,250		山形おきたま農協	101,145,057	
	特 定 資 産	各種積立金	128,798,515			312,452,803	
	基 本 財 産	出 資 金 等	184,575,288		短期負債	積 立 金	地区除外等 処理決済金
		119,216,315	職員退職給与 基金積立金	81,951,523			
土 地	事務所敷地、他	62,944,990	役員退任 慰労金積立金	2,385,334			
建 物 設 備 費	事務所、設備	46,965,982	特別積立金	32,108,324			
機 械 器 具	機械、車両	4,951,634	基本財産 積立金	183,654,288			
備 品	机、事務機器	4,353,709					
資 産 合 計			500,439,364	負 債 合 計			553,034,503

平成21年度 会計別補正予算総括表

(単位：千円)

◎ 一 般 会 計 (第1回)

歳 入		◎ 一 般 会 計 (第1回)		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
6. 繰越金	8,000	21,050	13,050	—	1. 事務所費	93,340	95,390	2,050	—
7. 繰入金	17,020	15,020	—	2,000	4. 財産費	35,860	44,860	9,000	—
計	232,470	243,520	11,050	—	計	232,470	243,520	11,050	—

◎ 一 般 会 計 (第2回)

歳 入		◎ 一 般 会 計 (第2回)		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
3. 補助金	8,100	9,300	1,200	—	2. 維持管理費	87,800	89,000	1,200	—
計	243,520	244,720	1,200	—	計	243,520	244,720	1,200	—

◎ 特 別 会 計 償 還 事 業

歳 入		◎ 特 別 会 計 償 還 事 業		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
2. 助成金	9,020	10,870	1,850	—	1. 区債及び借入金	51,220	53,070	1,850	—
計	63,440	65,290	1,850	—	計	63,440	65,290	1,850	—

◎ 特別会計かんがい排水事業(第1回)

歳 入		◎ 特別会計かんがい排水事業(第1回)		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
1. 白川左岸地区	59,340	59,560	220	—	1. 白川左岸地区	59,340	59,560	220	—
計	59,340	59,560	220	—	計	59,340	59,560	220	—

◎ 特別会計かんがい排水事業(第2回)

歳 入		◎ 特別会計かんがい排水事業(第2回)		歳 出					
款	既決予算	補正予算	比 較		款	既決予算	補正予算	比 較	
			増	減				増	減
1. 白川左岸地区	59,560	61,510	1,950	—	1. 白川左岸地区	59,560	61,510	1,950	—
計	59,560	61,510	1,950	—	計	59,560	61,510	1,950	—

歳入

◎ 特別会計基盤整備事業（第1回）

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 豊里地区	30,020	29,309	—	711	1. 豊里地区	30,020	29,309	—	711
計	45,323	44,612	—	711	計	45,323	44,612	—	711

歳入

◎ 特別会計基盤整備事業（第2回）

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 豊里地区	29,309	31,509	2,200	—	1. 豊里地区	29,309	31,509	2,200	—
計	44,612	46,812	2,200	—	計	44,612	46,812	2,200	—

歳入

◎ 特別会計特別積立金

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 事務所修繕及び備品積立	28,870	30,870	2,000	—	1. 事務所修繕及び備品積立	28,870	30,870	2,000	—
計	36,610	38,610	2,000	—	計	36,610	38,610	2,000	—

歳入

◎ 特別会計基本財産積立金

歳出

款	既決予算	補正予算	比較		款	既決予算	補正予算	比較	
			増	減				増	減
1. 財政調整基金	53,640	60,640	7,000	—	1. 財政調整基金	53,640	60,640	7,000	—
					2. 事業積立金	150,600	150,600	—	—
計	204,240	211,240	7,000	—	計	204,240	211,240	7,000	—

伝言板 こんな時は必ず届出をお願いします!!

- 農地を売買及び交換並びに贈与したとき
- 農業者年金などにより経営を移譲するとき
- ☆組合員の交替については、「組合員資格得喪通知書」の提出義務があります。
- 農地を賃借又は解約したとき
- 組合員が亡くなったとき
- 農地を転用する場合（田を宅地等にする場合）
- 公共事業等（道路改修、河川改修等）により農地が買収されたとき
「地区除外申請書」「農地転用等の通知」の提出をお願いします。地区除外については決済金を納入していただくこととなります。
- ☆上記組合員交替、地区除外について届出がない場合は賦課の変更はできませんので必ず届けて下さい。
- 自動口座振替について組合員の交代に伴い口座の変更があったとき
「貯金口座振替依頼書（変更）」の提出をお願いします。
- ☆賦課金の口座自動振替をご利用ください。お手続きは改良区をお願いします。
取扱金融機関は山形おきたま農業協同組合と、山形銀行です。 担当 総務課賦課徴収係
- 土地改良施設を出入り口に利用するとき
- 家庭排水や浄化槽処理水を水路に放流するとき
「土地改良財産他目的使用承認申請書」の提出をお願いします。
- 公共下水道、集落排水処理施設等に接続したとき
「土地改良財産他目的使用中止届」の提出をお願いします。
- ★平成21年4月より、個人住宅への進入路、個人住宅の浄化槽排水の他目的使用を新規申請する場合、使用料・手数料を承認時一括前納していただくこととなりました。以前より使用されている場合は更新手続きのご連絡をいたしますのでご来所願います。その際に使用料についてご説明いたします。
担当 管理課維持管理係

平成22年度 賦課額一覧表

第一期賦課期日 5月15日 : 納入期限 7月15日

第二期賦課期日 5月15日 : 納入期限 11月15日

◎ 一般会計

(単位:円)

会計種別	10a当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額
経常賦課金	4,800	4,800	—

◎ 特別会計

(単位:円)

会計種別		10a当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較	会計種別		10a当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
高豆菟一ノ宮地区	かんばい	500	—	500	-1,500	大塚地区かんばい	1,500	—	1,500	-500	
	暗渠A地区	3,000	—	3,000	-1,000	柳沢地区A地区	1,500	—	1,500	—	
	暗渠B地区	3,500	—	3,500	-1,500						

犬川上流、玉庭地区土地総地区は地元負担が完了いたしました。

◎ 特別会計(かんがい排水事業)

(単位:円)

会計種別	10a当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
白川左岸地区	1,400	—	1,400	+400

◎ 特別会計(基盤整備事業)

(単位:円)

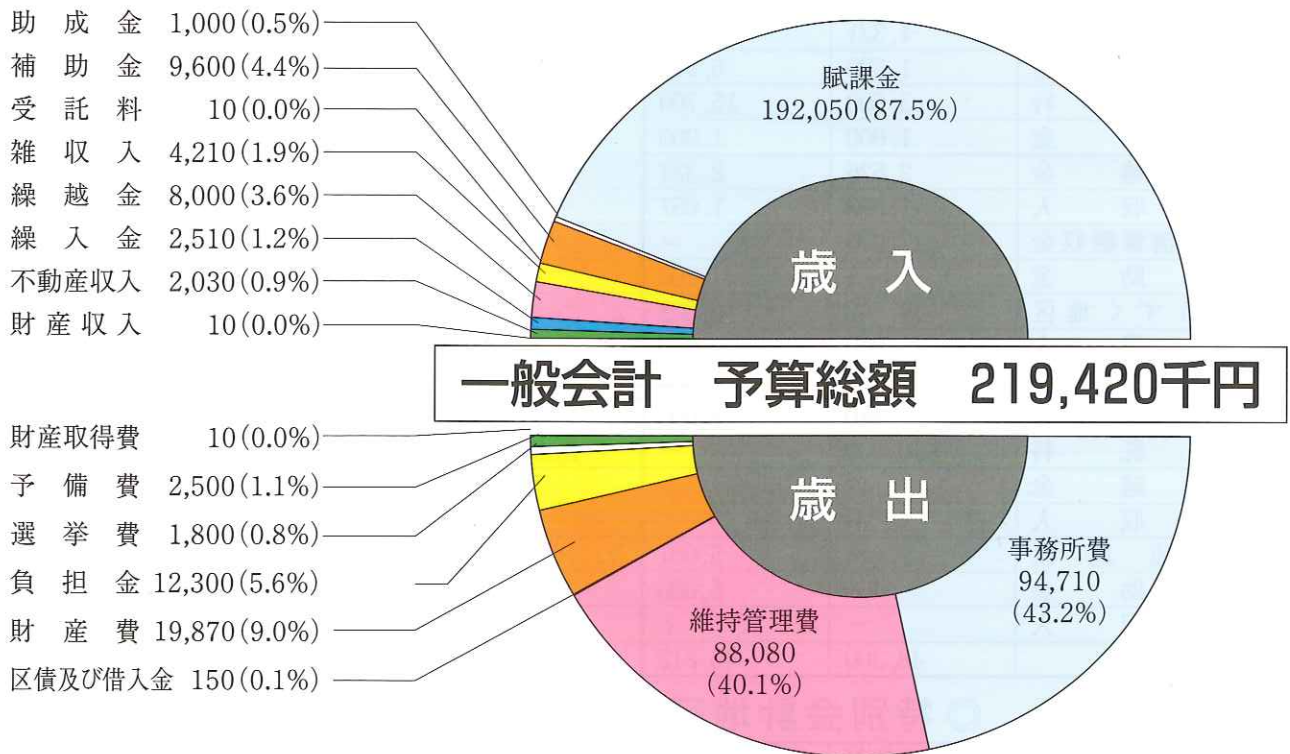
会計種別	10a当り賦課総額	第一期賦課額	第二期賦課額	前年との比較
豊里地区	5,800	—	5,800	—
こうずく地区	2,000	—	2,000	+1,000

平成22年度 地区除外等決済金額一覧表

事業種別		m ² 当り決済金額	事業種別		m ² 当り決済金額
国営土地改良事業	維持管理費	80円34銭	柳沢地区	A地区	3円52銭
国営附帯県営事業	維持管理費	26円44銭	白川左岸地区	事業	4円53銭
維持管理費	— 般	17円31銭	白川左岸地区	新農業水利システム保全対策事業	11円89銭
高豆菟、一ノ宮地区	暗渠排水A地区	2円78銭	豊里地区	事業	158円69銭
	暗渠排水B地区	3円24銭	高豆菟地区	調査	3円10銭
大塚地区	かんばい事業	3円91銭			

平成22年度 一般会計予算のあらまし

(単位:千円)



平成22年度 特別会計予算総括表

(単位:千円)

◎ 特別会計基幹水利施設管理事業

歳入			歳出		
科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
基幹水利施設管理事業	16,720	16,390	基幹水利施設管理事業	16,720	16,390
管理体制整備促進事業	9,600	9,700	管理体制整備促進事業	9,600	9,700
計	26,320	26,090	計	26,320	26,090

◎ 特別会計償還事業

歳入			歳出		
科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	5,290	10,450	繰出金	140	12,220
助成金	9,951	10,870	区債及び借入金	57,534	53,070
雑収入	17,298	20,034			
繰越金	12,161	10,335			
繰入金	12,964	13,591			
財産収入	10	10			
区債及び借入金	—	—			
計	57,674	65,290	計	57,674	65,290

◎ 特別会計かんがい排水事業(白川左岸地区)

歳入			歳出		
科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
賦課金	7,545	5,395	事務費	1,800	2,000
区債及び借入金	23,937	29,030	事業費	49,650	46,340
補助金	27,777	26,160	区債及び借入金	8,350	5,250
繰越金	440	824	分担金及び負担金	—	7,920
雑収入	101	101			
計	59,800	61,510	計	59,800	61,510

歳入

◎特別会計基盤整備事業

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
1. 豊里地区	30,800	31,509	1. 豊里地区	30,800	31,509
賦課金	4,321	4,321	事務費	1,970	3,950
区債及び借入金	1,300	6,910	事業費	7,000	16,400
受託料	3,500	15,700	分担金及び負担金	1,450	7,060
繰入金	1,000	1,000	区債及び借入金	3,380	4,099
繰越金	2,626	2,321	換地清算金交付金	17,000	-
雑収入	1,053	1,057			
換地清算徴収金	17,000	-			
補助金	-	200			
2. こうずく地区	17,500	10,302	2. こうずく地区	17,500	10,302
賦課金	1,940	970	事務費	2,950	42
区債及び借入金	5,100	4,330	事業費	8,550	10,200
補助金	440	5,000	分担金及び負担金	5,250	-
受託料	10,000	-	区債及び借入金	750	60
繰越金	19	1			
雑収入	1	1			
3. 宮地地区	-	5,001	3. 宮地地区	-	5,001
補助金	-	5,000	事務費	-	5,001
雑収入	-	1			
計	48,300	46,812	計	48,300	46,812

歳入

◎特別会計地区除外等処理決済金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
決済金	2,000	2,000	繰出金	10	10
繰越金	13,500	12,000	積立金	15,500	14,000
雑収入	10	10			
計	15,510	14,010	計	15,510	14,010

歳入

◎特別会計職員退職給与基金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	10,000	10,000	給与金	102,300	90,900
繰越金	92,000	80,600			
雑収入	300	300			
計	102,300	90,900	計	102,300	90,900

歳入

◎特別会計役員退任慰労金積立

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
繰入金	450	450	給与金	4,208	3,304
納付金	450	450			
繰越金	3,304	2,400			
雑収入	4	4			
計	4,208	3,304	計	4,208	3,304

歳入

◎特別会計特別積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
事務所修繕費及び備品積立金	33,440	30,870	事務所修繕費及び備品積立金	33,440	30,870
研修費積立金	2,410	7,740	研修費積立金	2,410	7,740
計	35,850	38,610	計	35,850	38,610

歳入

◎特別会計基本財産積立金

歳出

科目	本年度予算額	前年度予算額	科目	本年度予算額	前年度予算額
財政調整基金	65,680	60,640	財政調整基金	65,680	60,640
事業積立金	143,300	150,600	事業積立金	143,300	150,600
計	208,980	211,240	計	208,980	211,240

川西町立大塚小学校四年生
「第七回水の道探検隊」

平成二十一年七月十六日川西町立大塚小学校四年生二十一名を対象として「水の道探検隊」を行いました。これは、地域を担う子供たちに改良区の管理する農業用水利施設のいろいろな役割を紹介し、施設に対する関心と管理の必要性について理解を深めて貰うためのものです。



管理所を見学

当日は、大塚小学校を出発し、水士里ネット白川の中央管理所、白川ダム、長瀬頭首工、大塚分水工、西大塚用水路、大塚用水路を見学し、自分たちの地域に流れる水は、何処を通ってくるのか、水の道を探検しました。



白川ダムでみんな揃って記念写真

飯豊町立添川小学校
「米くわりの水路めぐり」

飯豊町立添川小学校で行なっている「小学校自然体験活動プログラム開発事業」の一環として、学校田にかける水がどこからくるかその水路をたどる体験活動が、五年生八名を対象として、平成二十一年七月九日行なわれました。当日は小雨でしたが、皆で学校田から歩いて水路をたどりましました。また、水士里ネット白川の中央管理所、松原分水工、西高峰頭首工、白川ダムを見学しました。白川ダムではボートに乗り犬黒取水塔を見学しました。



白川ダム ボート乗船



水路をたどって上流へ



用水管理所見学 操作体験



川西町立小松小学校
「郊外学習 施設めぐり」

川西町立小松小学校で実施している「郊外学習施設めぐり」の一環として水士里ネット白川が管理している施設の見学会が四年生を対象として、平成二十一年七月八日行なわれました。



小松頭首工での見学会



長瀬頭首工でみんな揃って記念写真

当日は、長瀬頭首工、小松頭首工や、江戸時代に造られた長堀排水路と、現在は改修され長堀排水路となっている施設を見学しました。

二十一世紀土地改良区
創造運動とは？

この活動は、土地改良区が果たしている役割を改めて見直すとともに、多面的な機能確保など地域住民が期待する新たな役割に対しどのように土地改良区が取組んで行くか、地域の皆さんと考える事を提案する運動です。

平成二十一年度は三つの小学校で改良区管内の施設見学が実施され、未来を担う子供たちに、農業水利施設の役割について紹介する事ができました。この活動は今後も継続いたしますが、各地区の子供会、自治会、生産組合、婦人サークル等の団体の皆さんによる施設見学会、研修を希望される方は総務課までご連絡ください。

電話 0238-881-9331

個人情報の取扱について

組合員皆様の個人情報の管理については、個人情報の保護に関する法律に基づきその適正な取扱を確保し業務を遂行しております。

窓口等では本人確認等でお手数がかかる場合もありますが、ご理解の上ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

先人の足跡

白川土地改良区設立

本土土地改良区は、昭和四十五年五月七日「山形区第407号」により設立認可を受けて以来、丁度四十年を経過いたしました。その設立に携わりました先代の方々の思いを辿ってみる事にいたします。

昭和四十三年度に国営白川農業水利事業が新規着工地区として採択されたのを受けて、地元側としてはその受け入れ態勢の万全を期するため、「白川土地改良区設立準備委員会」を昭和四十四年六月に結成し、具体的な検討を進めていった。設立準備委員に選出された五十名は、白川・小白川・萩生川・犬川・黒川と五つの水系にある十の土地改良区と二十七の任意水利組合の主だった五十名のメンバーで構成され、今後着工を予定されている県営白川農業水利事業も視野に入れながら、これから生まれようとする土地改良区を、どのような形のものにするのか基本的な問題について意見が交わされた。

それは、県当局よりの問いかけである単独の土地改良区とするか土地改良区連合にするかの検討である。設立準備委員の各位は、国営白川農業水利事業の計画図面を理解しているものの、現在ある十の土地改良区と二十七の任意水利組合の維持管理のあり方と、事業が完成した場合の管理の体系を現実として把握できないものがあり、将来の維持管理の方向性について激論が重ねられた。

単独の土地改良区とすれば、いずれ近い時期に各土地改良区も任意水利組合も包含して統合合併をする前提が必要となり、連合とすれば、すぐには合併する必要がないことになる。

各土地改良区及び任意水利組合は、藩政期からの古い水利体制にあり、これまでの古い施設の改良修繕を重ねながら維持管理が継続されてきた。当然ながら引き続き地域の人々と一緒にその施設を守って行きたいという願望がある。その古い歴史の踏襲が根強く残っていればいるほど現在の組織に固執する。その気持ちは当然すぎるほど当然である。

しかし、委員の総意としては自分たちの組織をいつまでも残しておきたいとする気持ちと、連合にしたいとする気持ちとは同じではなかった。

そこで、組織のあり方を検討すると同時に、原点に戻り現在の在来施設と国営の事業計画を照らし合わせ、どう将来は変わるのか検討することとなった。これまでにない大事業を計画では理解していたが、在来の施設はどうなるのか不透明な部分があり、それを煮詰めていった段階で国営路線ともその殆どが在来施設を使わずに新設される。在来施設は生まれ変わり、各土地改良区及び任意水利組合の管理区分が全て崩されて、旧水路は埋め立てられたり廃止されていく。

このことを、委員全員が理解したとき、単独土地改良区の設立に衆議一決された。

そして、昭和四十五年二月十日に「申請人会」を開催し、土地改良設立認可申請についての議決を行い、二月十二日付けで、山形県知事宛に須貝一郎氏を代表に二十一名で申請を行い、五月七日「山形区第407号」で設立の認可となる。五月十三日で設

立準備委員会はその役目を終え解散としている。

また、昭和四十五年六月二十二日に新総代八十五名が決まり、七月三日の第一回総代会に於いて新役員の内務十五名、監事三名を選任し、七月六日に第一回理事会を開催し、初代理事長須貝一郎、※副理事長小松泰二郎、※関川辰美、総括監事横山正雄を互選し、白川土地改良区の運営執行体制を確立している。

そして、七月十一日に国会議員、山形県知事、東北農政局建設部長、地元県議会議員等多数の出席を頂き、飯豊中学校の体育館に於いて盛大に設立祝賀会が開催された。

白川土地改良区として設立されて四十年、その当時の先代の役員の思いが現在まで伝えられているであろうか。昔と比べ稲作は機械化が進んで農作業に費やす時間が減少し、大半の若者は農業従事者とならず、振り返ってみると高齢者農業となっている。

若い年代層では、自分の田に引水しているのが、白川のどの頭首工からどの水路を通して水が来るのかを理解できていないところがあるように思える。先代の方々が苦勞した時代とは当然違うとしても、許可されている水利権である以上、水の大切さを組合員だけでなく広く住民の方々に啓蒙するのが、今後の改良区としての役割ではなからうか。

(文中の※ 小松泰二郎氏は第二代理事長、関川辰美氏は第三代理事長として就任)

掲載した文は、白川土地改良区史より抜粋し加筆したものです。

農業用水水源地域保全ブロックシンポジウム(置賜)

白川土地改良区一般研修

概要説明をうける一般参加者の皆様



中央管理所見学



平成二十二年二月五日午後二時より南陽市えくぼプラザにおいて、農業用水水源地域保全ブロックシンポジウムが開催されました。講演は米沢中央高等学校副校長の佐藤五郎氏による「母なる最上川」と題して、最上川の水質や、歴史的遺産についての貴重なお話しでした。

改良区からは、役員八名、一般参加者十四名が出席いたしました。

また、当日の午前中、一般参加として出席いただいたご婦人の皆様には、当改良区の研修会に出席いただき、改良区の概要、用水管理システムの見学を行い、改良区が管理する施設の多面的役割などについて理解を深めていただきました。

農業用水水源地域保全事業について

私たちの生活に重要な役割を果たしている、森林や農業農村の機能について皆さんに理解を深めていただくため、シンポジウムや広報、普及活動を行なうものです。

農業用水の水源を守るために森林を保全することが、農業、農村の水環境を守り、私たちの住む地域を守る事につながります。



シンポジウムに参加の皆様



活動発表者による意見交換会



祝辞を述べる安孫子県知事
来賓
木村衆議院議員(右)
井上県議会議員(左)



須貝 一郎初代理事長

白川土地改良区設立祝賀会

期日 昭和四十五年七月十一日
場所 飯豊町立飯豊中学校体育館



設立当時の白川土地改良区事務所(白樺公民館)前にて役員記念写真

白川土地改良区設立認可申請人(21名)

須貝 一郎	長沼 清吉	高橋 和郎
目黒真次郎	江口 太郎	竹田 正二
曾根原健司	船山 利吉	小松韓紀児
小松泰二郎	朝倉 正一	長沼 良次
菅原 信雄	佐藤 栄一	鈴木 栄
高橋 豊	船山 五平	原田 喜助
関川 辰美	安部 勝雄	富樫 幸雄

農地・水・環境保全対策

東沢地区

(東沢地域資源保全協議会)の活動

会長 高橋 文勝

農業環境の昨今の流れについては人材の減少、若い後継者の減少といった人材的な農業環境の悪化にともない、又農産物の安価もプラスして農業構造全般の低迷につながり、更に加速している現状と言えよう。そうした現状を打破し、ひとつの特効薬的に誕生したのが農地・水・環境保全対策であり、大部分で平成十九年度から実施された。

我東沢地区は川西町の西南に位置し水稲を中心とした平凡で素朴な純農村地域である。我東沢にとって特異すべき事は、昔から水不足を生じ、ありとあらゆる沢あいに、大小のため池があり水の尊さについては他地区以上の思いがあり、今でこそ白川の水が供給され大きなため池についても整備され、用水の供給についても万全を期している状況であります。この対策事業においても、ため池はもちろん農地・用排水路・農道といった維持管理、保全に向けても万全な活動が出来得る制度であり、ありがたく取り組んでいます。

東沢資源保全協議会も全面積(中

山間直接支払い該当面積は除く)三〇五・九ヘクタール、用排水路一一五・一キロメートル、ため池二五箇所、農道三一・六キロメートルを対象とした申請を行い認可を受け現在に至っています。

当地区については、六つの集落(大舟上・中・下・奥田上・中・下)があり各々の集落に定額的な交付額を決めその集落にあった又自ら企画をした活動内容に交付しています。大部分の活動については大きな差異は無く、用排水路の清掃、草刈、決壊箇所への補修又ため池等の草刈、見守り点検、農地等の保全管理(あぜ塗り)と言った活動が主であります。

ただ昨年消防団員の方々と防災的なこともあり、ため池の見回り確認、水路の確認等も私達資源保全協議会の役員と一緒に活動をした事もありました。そして、昨年度第一期対策の中間年という事もあり、これからの体制整備構想をまとめあげる指針として各戸(一八〇戸)成人以上を対象に、この事業に関しての理解度又これからの活動展開の参考に資するためアンケートを実施をし、回収率五八、三パーセント(三三〇名)という回答を頂く事ができました。(アンケート調査結果別記参照) こうしたアンケートの結果を踏まえ、今ある自然環境(特に生態系)

の保全に対しては、各世代共に関心があることが示され、我東沢地区についても貴重な動植物が確認され、それらを保全する活動や山間部にとっては耕作放棄地も多少見られる様になりその対策として大規模な景観作物等を植栽しながら保全等に努め、大切な自然を守って行きたいと考えております。

この対策が始まって実質三カ年を経過し、まだまだ維持管理や保全活動に力を入れなくてはと思っている現状です。

これからの事業展開については、生態系保全等には子供達も含めて検討を深めて行きたいと思えますし、その他の事業についても農業者、非農業者一体となつて、活動をしながら

ら若者も安心して住め、混住化する社会の中で若年層、中堅層、高齢層がうまく役割分担をし、又一緒に活動する事で自然豊かな環境を保全し話し合い等をしながら実のある物にしていききたいと考えております。



▲共同作業によるため池の草刈、点検



◀水路の清掃、落ち葉除去

アンケート調査結果

回答数330名 58.3% H21.8月調査

- 取り組みを進めた方が良いと思う活動の提案と主に行なう個人・団体名を記入して下さい。」という質問に対して
 - 20歳代 28名 8.5%
 - ・サギの駆除 ・花いっぱい ・食材のアピール
 - ・虫、サワガニを増やす ・ため池の整備
 - 30歳代 45名 13.6%
 - ・ホテルの保存 ・地域の歴史を知る ・花植え(桜)
 - ・ブランド米販路拡大 ・野焼き防止 ・森林の整備
 - ・子供の遊べる場所 ・農道の整備 ・下水の整備
 - ・昔の遊び
 - 40歳代 44名 13.3%
 - ・インターネットの充実 ・魚のいる河川
 - ・地域マップ(祭り) ・不法投棄 ・農業(新規)者募集
 - ・廃屋処理 ・畜産臭気 ・冬期間の足確保
 - ・高齢者の収入に結びつくもの ・太陽光の利用
 - 50歳代 72名 21.8%
 - ・個人個人が管理する ・虫、サワガニの復活
 - ・草刈の徹底 ・きれいな河川
 - ・花種苗の配布(各戸) ・街灯を増やす
 - 60歳代 57名 17.2%
 - ・虫、めだかの復活 ・森林対策
 - ・東沢の良さをアピール ・ため池の利活用
 - ・子供たちの遊場 ・足(交通弱者)の確保
 - ・直販所の充実拡充 ・ゴミ拾い
 - 70歳代 49名 14.8%
 - ・虫 ・野焼き中止 ・舟山を花の山に
 - ・ダリヤ球根の無償配布 ・廃屋の撤去
 - ・古い施設を歴史館に ・歩道の設置
 - 80歳代 35名 10.6%
 - ・虫 ・昔の年中行事の復活
 - ・地域案内看板(若者の視点で) ・メダカもすめる川に

表彰

土地連置賜支部 土地改良功労者表彰

平成二十一年度山形県土地改良事業団体連合会置賜支部通常総会が平成二十二年二月十八日長井市「グランドホクヨウ長井」で開催されました。
その席上で佐貝全健支部長より左記の方々に表彰状が贈られました。

理事 多田 久司
監事 大場 忠博
職員 木全 貴子



▲左より 大場監事、木全主任、多田理事



本区理事長表彰

総代表彰

去る三月二日、通常総代会の席上に於いて長年総代として改良区運営にご尽力いただいた、十名の総代の方々に理事長より感謝状が贈られました。

朝倉隆一郎（飯豊町萩生）
佐藤 幹彦（飯豊町萩生）
佐藤 正昭（飯豊町黒沢）
新野 純一（飯豊町添川）
安部宗右衛門（飯豊町小白川）
伊藤 源次（川西町大塚）
佐藤 嘉彦（川西町高豆冠）
村山 邦男（川西町玉庭）
大木 孝（川西町玉庭）
丹野 恒昭（川西町玉庭）



維持管理組合長表彰

去る四月十五日維持管理組合長会の席上に於いて長年維持管理費管理組合の運営にご尽力されました三名の方々に理事長より感謝状が贈られました。

高橋 利 郎（飯豊町小白川）
高石 公 榮（飯豊町椿）
横野 正 己（川西町玉庭）



高橋前組合長



高石前組合長

維持管理委員に委嘱状交付

四月十五日開催の維持管理組合長会において維持管理組合の管理委員百七十四名に委嘱状が交付されました。その後第一回維持管理組合長会が開催され、維持管理組合長会々長に西大塚維持管理組合長の安部栄太氏、副会長に豊川維持管理組合長の田中清次氏、今泉維持管理組合長の鈴木高一郎氏が選任されました。維持管理委員の皆様には三年間よろしくお願いたします。



委託状を受ける
中村組合長

新 維持管理組合長（任期平成22年4月1日～平成25年3月31日）

組合名	組合長名	組合名	組合長名	組合名	組合長名
豊川	田中清次	歌丸	梅津喜七	他屋	佐藤嘉彦
小白川	五十嵐国太郎	今泉	鈴木高一郎	小松右岸	平間永作
萩生	樋口仁一	西大塚	安部栄太	犬川下流	大河原弘
白川左岸	手塚國治	大塚	加藤俊一	玉庭	本間昌司
添川	中村仁一	小松左岸	高橋孝宣	黒川	佐々木勇司

お知らせ

用水の掛け流しは**絶対**やめましょう。
水の有効利用をお願いいたします。

子供達を水の事故から守りましょう

用水路の通水量は、気象条件や営農上不定期に増減して危険です。各地で農業用水路による子供の水難事故が起きております。

子供を水路付近で

絶対遊ばせないように

注意しましょう。



事務局構成

平成二十二年事務局構成をお知らせいたします。

総務課

課長	井上貞夫
課長補佐	鈴木成一
庶務会計係長	木全貴子
庶務会計係主事	竹田亜津美
賦課徴収係長	(鈴木補佐兼務)
賦課徴収係主事	高橋昌一郎
賦課徴収係主事補	井上香里

管理課

課長	青木茂
課長補佐	田辺俊文
維持管理係長	横山雅彦
維持管理係主任	原拓磨
維持管理係主事	小関雅史
事業係長	(田辺補佐兼務)
事業係主任	猪股拓也
事業係主事	舟山千晶

新規採用

よろしくお願いたします

四月一日付 新採

総務課賦課徴収係



井上香里

飯豊町高峰

休日出務

代かき・田植、間断かん水期は、交替で
出務し対応いたします。

TEL 0238 - 88 - 9331

FAX 0238 - 88 - 9348

編集後記

今年の春は天候不順により四
十一年ぶりの春の大雪、低温に
見舞われ、農作物への被害や、
稲の作柄が心配されますが豊穡
の秋を迎えられる事を祈ります。
本年度は白川土地改良区が設
立されて四十一年目、総代、役
員改選の年で十一代目就任とな
ります。組合員の皆様にはご協
力よろしくお願いたします。